

大豆の生育状況(水戸市)

地域名	品種	生育ステージ	対平年遅速	生育(作柄・品質)概況等	これまでに講じた対策及び今後の方針
水 戸	タチナガハ	収穫終了	4日早い	1)気象概況:大豆生育期間(6月20日～10月25日) 平均気温は平年に比べて0.2℃低く、降水量は平年並、日照時間は平年比78%であった。登熟期にあたる10月の第3半旬～第5半旬(15日間)の降水量は216.5mmと非常に多かった(水戸地方気象台観測値。平年値は直近5ヶ年の平均値。別紙に図示)。 2)生育概況 ●タチナガハ:平年と比べて、開花期は3日早く、成熟期は4日早かった。主茎長は平年よりやや長く、主茎節数は平年並、分枝数はやや少なかった。茎の太さはやや太く、全重はかなり重かった。結実莢数は平年並で、粗子実重は重く、精子実重、百粒重はやや重かった。 ●納豆小粒:平年と比べて、開花期、成熟期とも2日早かった。蔓化により、平年と比べて主茎長はかなり長く、主茎節数、分枝数、茎の太さは平年並、全重はかなり重かった。結実莢数は少なく、粗子実重は平年並、精子実重はかなり軽く、百粒重はやや重かった。 登熟期の多雨により粒の形がいびつになるものが特に「納豆小粒」で多発し、精子実重が激減した。「タチナガハ」「里のほほえみ」「納豆小粒」いずれの品種でも灰色～黒色の粒や裂皮粒が多く発生し品質低下が顕著だった。	・紫斑病・英害虫の防除を実施した。
	里のほほえみ	収穫終了	-		
	納豆小粒	収穫終了	2日早い		

表 畑における生育(水戸市 茨城県農総セ農研 作物研究室)

品種名	開花期			成熟期			主茎長			主茎節数			分枝数			茎の太さ		
	本年 (月日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (月日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	7.29	-3	-3	10.20	-4	-4	58.6	123	110	13.5	102	99	4.4	101	92	9.8	109	108
里のほほえみ	7.31	-2	-	10.19	0	-	66.9	126	-	13.6	115	-	4.6	102	-	10.3	83	-
納豆小粒	8.07	-2	-2	10.25	1	-2	104.3	157	138	17.7	108	104	5.9	94	96	9.0	100	103

品種名	全重			結実莢数			粗子実重(水分15%換算)			精子実重(水分15%換算)			百粒重		
	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (莢/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	131	146	172	59	124	102	48.1	145	123	37.5	142	108	40.8	109	111
里のほほえみ	127	100	-	79	162	-	42.1	130	-	33.0	136	-	42.8	105	-
納豆小粒	130	150	171	139	76	80	36.0	103	101	15.2	55	48	12.1	117	110

耕種概要 1)圃場(来歴):表層腐植質黒ボク土(輪換畑圃場1年目)

4)施肥量 N-P₂O₅-K₂O=0.3-1.0-1.0kg/a

6)茎の太さは第1節(子葉節)と第2節(初生葉節)の節間で測定。

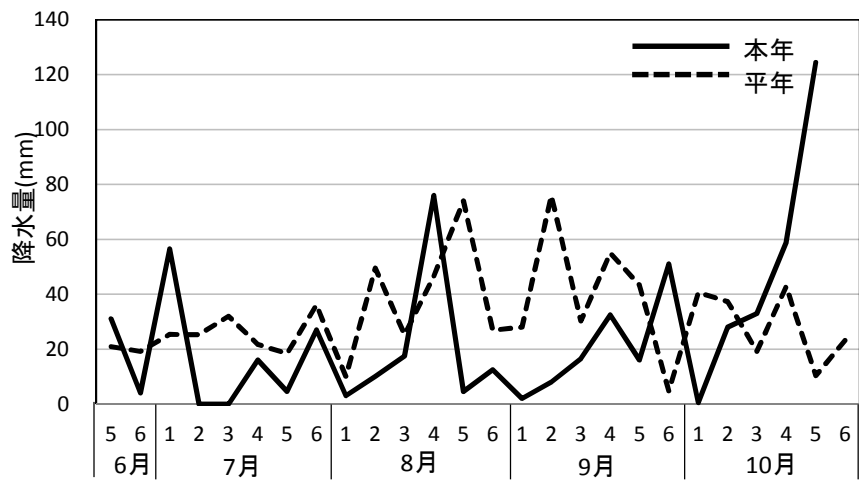
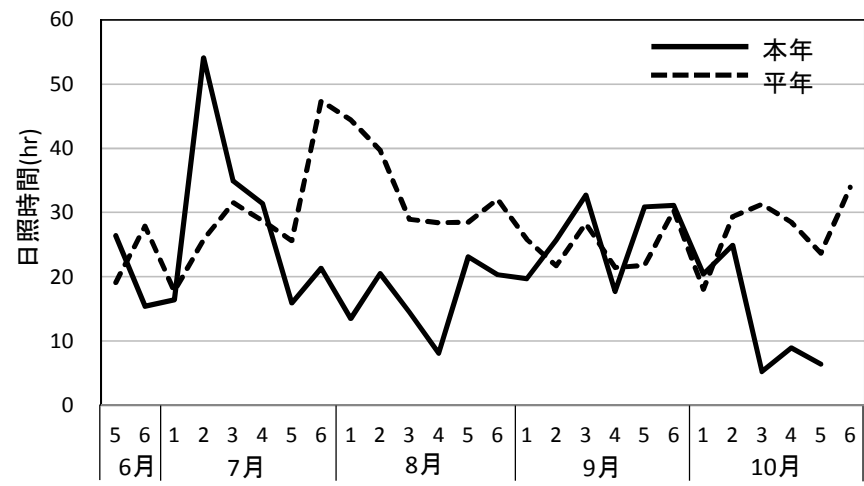
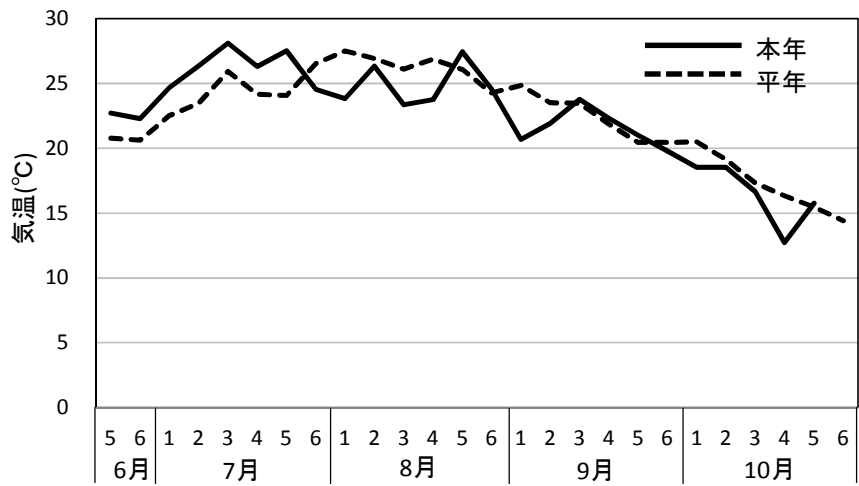
2)播種日:6月20日

3)栽植密度: 11.1株/m²(畦間60cm×株間15cm 1本立)

5)平年値:平成24～28年の結果の平均。「里のほほえみ」は平成27年から実施のため、平年値は無い。

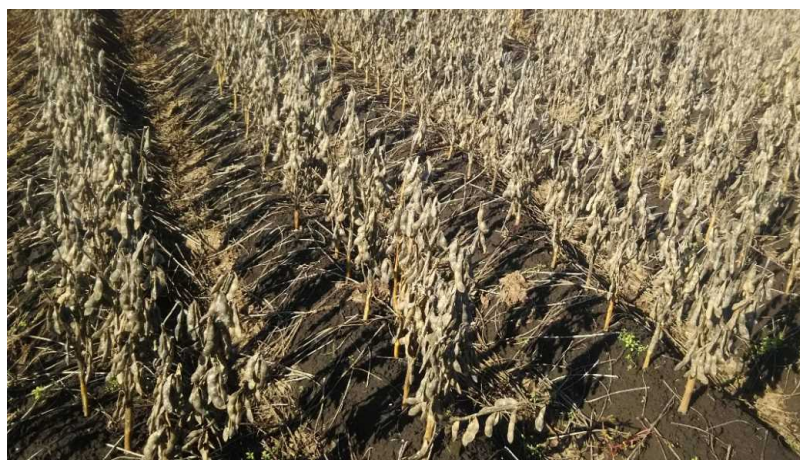
7)精子実重:脱穀後ロール選別機にかけた後、大粒6.7mm、小粒4.2mmでふるいにかけ、残った子実の重さ。

平成29年度半旬別気象経過図
(水戸地方気象台データを参考に作成。平年値は直近5年間の平均値。)





タチナガハ(10月20日撮影)



里のほほえみ(10月20日撮影)



納豆小粒(10月20日撮影)